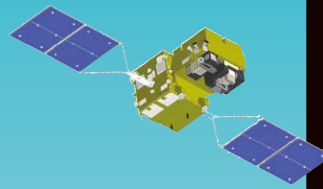


地球の健康を宇宙から見守る GCOMプロジェクトとは？

JAXAはこれまで、地球環境を調べる衛星をいくつも打ち上げてきました。温室効果ガスを調べる「いぶき」、地表の様子や地形の変化を観測する「だいち」。そしてこれらの衛星に続いて、さらにくわしく地球環境を調べる衛星の打ち上げが予定されています。それが「GCOM」シリーズです。GCOMは大気や海、陸地、氷や雪といった地球全体を10年以上観測し、地球環境の変化をくわしく調べることを目標にしています。

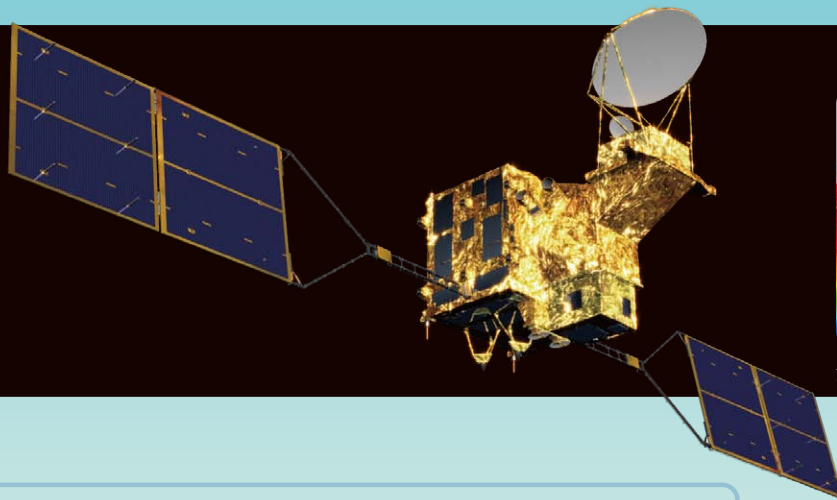


気候変動観測衛星「GCOM-C1」

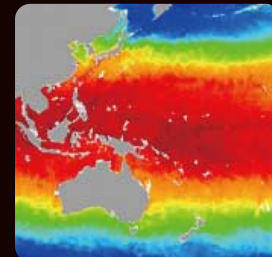
「C」はClimate（気候）の頭文字。GCOM-C1は空気中に広がるチリや雲の様子、植物やプランクトンなどの分布を長期間に渡って観測します。これによって、地球への熱の出入りや生態系の変化などが明らかになり、将来地球環境がどのように変化していくかをより精密に予想することができると期待されています。

水循環変動観測衛星「GCOM-W1」

「W」はWater（水）の頭文字。GCOM-W1はその名の通り、主に水について観測する衛星です。海や地表から出てくる微弱的な電波を調べることで、雨の量や水蒸気の量、海上の風の強さ、海水の温度などをくわしく調べることができます。地球環境を大きく左右する水環境を理解することで、気候変動などのメカニズムが明らかになることが期待されています。



観測画像の例

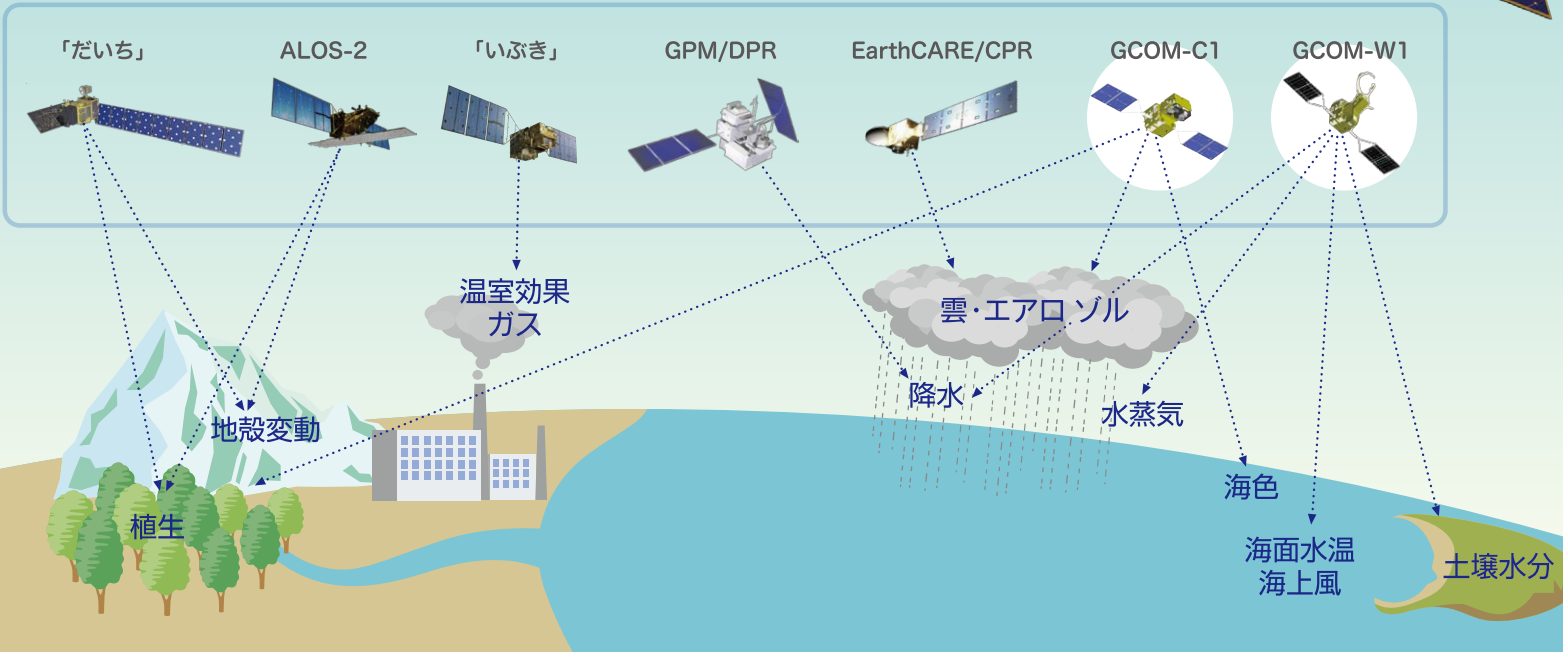


海の表面の温度



北極海の海水面積

地球環境観測システム



ぼくのいる北極海の氷はどんどん減っているみたいだ。地球温暖化の影響が一番わかりやすく出るのは、北極の氷の広がりなんだって！だから北極の氷を調べることは、地球温暖化の観測にとっても重要なんだ。GCOM-W1は海上の氷、雨、土の中の水分がどこに広がっているかを見ることによって、地球全体の健康診断をしているんだよ。じゃあもっとくわしく中川さんに聞いてみよう！



次のページはプロジェクトマネージャのインタビューだよ！ →